

## 2023年3月期 第1四半期決算の状況

## &lt;総括&gt;

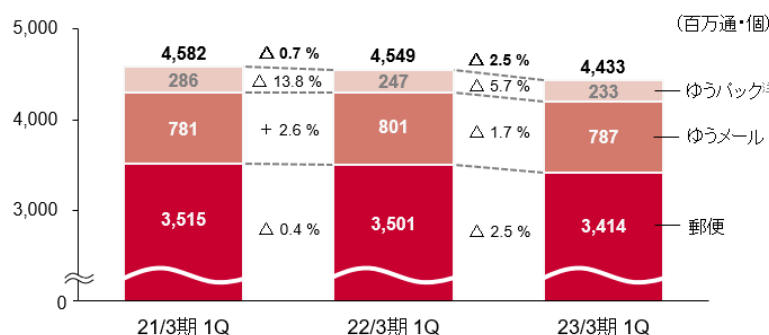
- 日本郵便(連結)の営業収益は前年同期比486億円減の8,535億円、営業利益は前年同期比100億円減の267億円、四半期純利益は前年同期比29億円減の297億円と、減収減益。
- 事業別でみると、
  - 「郵便・物流事業」…営業収益は、前年度第2四半期から新たに連結した子会社の影響により増加したものの、厳しい競争環境等によりゆうパック(ゆうパケット含む)が減少したことに加え、一部の国や地域宛ての国際郵便の引受停止等の影響により、減収。営業費用は業務量に応じた担務別コストコントロールの取組等を進めたものの、前年度第2四半期から新たに連結した子会社の影響もあり増加し、営業利益は減益。
  - 「郵便局窓口事業」…営業収益は、保険手数料や銀行手数料の減少が続き、減収。2022年4月からの新しいかんぽ営業体制への移行等に伴い、人件費が保険手数料の減少を上回って減少したこと等により、営業利益は増益。
  - 「国際物流事業」…営業収益は、フォワーディング事業の貨物需要増による増収が続いているものの、2021年8月のエクスプレス事業譲渡に伴う収益剥落の影響により、減収。営業費用もエクスプレス事業の費用剥落等により減少したものの、営業損益(EBIT)は減益。

(億円、下段括弧内は百万豪ドル)

|           | 日本郵便<br>(連結) | 前年同期比 | 郵便・物流<br>事業   | 前年同期比 | 郵便局窓口<br>事業 | 前年同期比 | 国際物流<br>事業       | 前年同期比            |
|-----------|--------------|-------|---|-------|-------------|-------|------------------|------------------|
| 営業収益      | 8,535        | △ 486 | 4,750   | △ 135 | 2,696       | △ 165 | 1,620<br>(1,750) | △ 190<br>(△ 397) |
| 営業費用      | 8,268        | △ 385 | 4,710   | + 28  | 2,488       | △ 260 | 1,579<br>(1,706) | △ 166<br>(△ 364) |
| 人件費       | 5,205        | △ 388 | 3,028   | + 21  | 1,805       | △ 278 | 371<br>(401)     | △ 132<br>(△ 196) |
| 経費        | 3,062        | + 2   | 1,681   | + 6   | 682         | + 18  | 1,208<br>(1,304) | △ 34<br>(△ 168)  |
| 営業利益      | 267          | △ 100 | 39  | △ 163 | 207         | + 94  | 40<br>(44)       | △ 24<br>(△ 33)   |
| 経常利益      | 273          | △ 72  | ※ 本資料は報道発表資料に合わせて「日本郵便連結」での決算数値を記載しています。「日本郵便連結」とは日本郵便株式会社を親会社として、連結対象の子会社等の成績も含めた連結決算です。 |       |             |       |                  |                  |
| 特別損益      | 52           | + 43  |   |       |             |       |                  |                  |
| 税引前四半期純利益 | 326          | △ 28  |   |       |             |       |                  |                  |
| 四半期純利益    | 297          | △ 29  |   |       |             |       |                  |                  |

## 【取扱数量の推移】

(郵便・物流事業)



注: 「ゆうパック」には、ゆうパケットを含みます。

## 【収益構造の推移】

(郵便局窓口事業)

